

30 ハール(サマ、マッシュ)
Hale, Sir Matthew
一七三三、三〇四、三〇六

英國人、高名の法學家、敬神家、法官として令名高く最高官に昇進す。一六〇九年十一月一日生、一六七六年十二月二五日死。

31 ハンリー(マシュー)
Henry, Matthew
一七六、一八三

英國高名の聖書註釋家、一六六二年十月一八日ウエールスに於て生れ、一七一四年六月二二日死す。其舊約註釋書は、二百年後の今日、尙ほ廣く世に行はる。

32 ハンシヤウ(ジョン、ブレンドンチス、キユレー)
Henshaw, John Prentiss Kewley
一七三、三三三

米國人、美以派の監督たり、一七九二年生、一八五二年死。

33 ハルズバヤ(ジョージ)
Herbert, George
一三三

英國高名の詩人。一五九三年生、一六三三年死。

34 ペトリン(エドワード)
Payson, Edward
一〇六

高名なる米國牧師、一七八三年生、一八二七年死。その説教集後世に行はる。

35 ペン(ウヰリアム)
Penn, William
一〇、一一三、一六六

英國に生れ、米國に渡り、ペンシルウヘニア州を創立す。敬虔家、同胞教會の祖、遠徳の君子也。一六四四年十月一四日ロンドンに於て生れ、一七一八年七月三〇日英國に於て死す。

36 ペリントン(アイザック)
Penington, Isaac
一三、一一三、一七九、一八三、三三三

國地不明、思想家、著述家、一六一七年生、一六七九年死。

○トの部

37 ドラムモンド(ヘンリー)
Drummond, Henry
一六、一六八

蘇國人、宗教家、教授、著述家、演説家、一八五一年生、一八九七年死。其著「靈界に於ける自然法」廣く天下に行はる、此人曾て日本國に來遊したる事あり。

38 トウレン(ジョン)
Tauler, Johann
一一〇、一三三

獨逸人、神秘家、説教家、改革家、一三〇〇年頃生、一三六一年死。

39 トム
Thom (John W. Hamilton D. D.)
一六三

是れジョン、ハミルトンの別號也、米國人、美以教會に於て著名の教師なり、一八四五年生。

40 トブラダイン(ラ、ガスタス、モンターグ)
Toplady, Augustus Montague
一三〇

英國人、宗教教師、論辯家、詩人、著書多し、一七四〇年生、一七七八年死。

○チの部

- 41 チャルマルス(トウマス)
Chalmers, Thomas
三九、一六九、二〇八、二〇九、

蘇國人、高名の神學者、著述家、一七八〇年三月一
八日生、一八四七年五月三日死。此人蘇國自由教
會の首領にして蘇國々教會より自由教會の分離せし
時に當り大勢力を振ひたり。

- 42 チャンニンズ(ウヰリヤム、エレリー)
Channing, William Ellery
二三、三三、一三四、一七六、二五二、二九四、

米國人、宗教教師、著述家、慈善家、米國に於ける
ユニテリアン派創立者の最も有力なる一人。一七八
〇年生、一八四二年死。

- 43 チャーレス(エリザベス、ランドル)
Charles, Elizabeth Rundle
九五、二二三、二七六、

英國人、女學者、小説を以て著名なりし人、一八二
六年頃生、一八九六年死。

- 44 チェスターフィールド伯爵
Chesterfield, Earl of
六、七五、二八八、

此は爵名なり、代々學者を出せり、本書に引ける人は
恐くはその第四代目なる Philip Dormer Stanhope
氏の事なるべし、此人は一六九四年生、一七七三年
死。

- 45 チャピン(エドワード、ハッセル)
Chapin, Edward Hubbell
一七一、一七六、一七九、

米國人、宗教教師、宇宙神教派の首領として勢力あ
りし人也、一八一四年生、一八八〇年死。

○リの部

- 46 リチテル(ジーン、ポール、フレデリック)
Richer, Jean Paul Fredrick
一一七、

獨逸聯邦パリアの人、獨逸に於ける有名の著者、獨
刺家、一七六三年生、一八二五年死。

- 47 リットン(ブルウエル)
Lytton, Bulwer
二五、二八八、三六四、

是れ英國に於ける華族リットン家の名稱にして第一
代第二代共に秀才にして文名高し、その孰れなるを
詳にせず。第一代は一八〇三年生、一八七三年死。
第二代は一八三一年生、一八九一年死。

○ルの部

- 48 ルーテル(マーティン)
Luther, Martin
一一九、一三二、一三九、

最も高名なる宗教改革家、論辯家、著述家、聖書翻譯
者、一四八三年十一月一日(日サキソニー)今の獨逸
聯邦の一)なるアイズレンに於て生れ、一五四六
年二月一八日同所に死す。始め大學に學び後ち天主
教の祭司となり、又某大學の教授となるが、天主
教會に對する疑議起り、聖書に於ける大直理の確信
成るに及び、終に改革の止むべからざるを斷じ、同
士と共に起りて、辯論をもて、或は著述を以て、或
は有力者の間に奔走奮力して、略は改革の大事業を
完成したり。

- 49 ルーソー(ジーン、ヤコブ)
Rousseau, Jean Jacques
一一三、

佛國人、哲學者、政事家、著述家、一七二二年瑞西
ゼネバに於て生、一七七八年パリヌに於て死。その
著書多く世に行はる、民約論最も著名なり。

○チの部

- 50 ヲルビング(ワシントン)
Irving, Washington
一八二八、一七五、二七三、
- 51 ヲリン(スラーブ)
Olin, Stephen
九一、

米國人、有名なる文學者、歴史家、一七八三年四月三日生、一八五九年十一月二八日死。文集廣く世に行はる。

米國人、宗教教師、教育家、終に美以派大學校の長となる、一七九七年生、一八五一年死。

○ワの部

- 52 ワルウ舞ツク
Warwick
二〇六、三三五、
- 53 ワットソン(ジョン)
Watson, John
三三九、
- 54 ワシントン(ジョージ)
Washington, George
六三、一八三、二一〇、

此は恐くは或る英國小説中に描寫せられたる主人公を云へるものにして實際に存在したる人にあらず。

蘇國人、宗教家、著述家、別號をアイアン、マクラレン(Jan Naclaren)と稱す。牧會の傍ら宗教書を著はせること夥多也。一八五〇年十一月三日生、一九〇七年四月死。

是れ米國人の尊崇する所の大人物、第一代大統領なり。一七三二年二月二日(或は云ふ二月一日)ホルウニヤ州サエストモアランド郡に於て生れ、一七九九年十二月一日ワシントン市近郊マウントベルノンに於て死す。

○カの部

- 55 カーライル(トウマス)
Carlyle, Thomas
一八、一四八、一六九、一九八、二五二、二九六、
- 56 カント(インマヌエル)
Kant, Immanuel
二二一、
- 57 カトウ(マルカス、ポルシアス)
Cato, Marcus Porcius
二五、
- 58 カツプ(フランセス、パワー)
Cobbe, Frances Power
一三〇、三三〇、三四一、
- 59 カドウォルス(ラルフ)
Cudworth, Ralph
一四、二一、九三
- 60 ガスリー(トウマス)
Guthrie, Thomas
九〇、

蘇國人、高名の學者、歴史家、一七九五年十二月四日蘇國ダンフリー郡に於て生れ、一八八一年二月四日ロンドン市に於て死す。著書甚だ多し、就中、佛蘭西革命史、英雄崇拜論等廣く世に行はる。

獨逸人、大哲學者、近世の思想界に大感化を及ぼせる者此人に及ぶ者少なし、一七二四年四月二日生、一八〇四年二月二日没、著書浩翰。

羅馬人、戰士、愛國者、ストアック派哲學者、紀元前二三四年生、同一四九年死。

英國人、女流著述家、慈善家、一八二二年生、一九〇四年死。

英國人、神學者、哲學者、一六一七年生、一六八八年死。

蘇國人、宗教教師、辯士、慈善家、一八〇三年生、一八七三年死。

○タの部

61 ダンテ
Dante
八四、

伊多利高名の詩人、その人物の森嚴脱俗せるを、その詩想の絶大幽遠なるを以て、世界的詩人の一と稱せらる。一二六五年五月フロレンスに於て生れ、一三二〇年九月一四日ラヴェナに於て死す。

○レの部

62 レートン(ロバート)
Leighton, Robert
一九四、二二二、二二六、二八三、三五二、三五二、

蘇國人、神學者、此人始めは長老派に屬し、一たびエダンボロー大學長たりし事ありしが、後、英國教會に屬し、グラスゴウの大監督となり、著述多し、一六一一年生、一六八四年死。

○ソの部

63 ソクラテース
Socrates
六三、三〇三

最も高名のギリキの哲學者、東洋に孔子あるが如く西洋に此人あるなり、紀元前四七〇年首府プラトスに於て生れ、同三九九年同所に於て死す。

64 シュロー(ヘンリー、デビッド)
Thoreau, Henry David
一三三、一七〇、二五五、

米國人、哲學者、奇矯家。一八一七年生、一八六二年死。

65 ソーシデイテーズ
Thucydides
二三六、

高名なるギリキの歴史家、紀元前四七一年頃生、同四〇一年頃死す。

○ラの部

66 ラッド(ジョージ、トランブル)
Ladd, George Trumbull
三九、

米國人、神學者、哲學者、心理學者、一八四二年生、著書多く世に行はる、日本國に渡來せる。二前後二回、教育者間に歡迎せらる。

67 ラッター(ジョン、カスパー)
Lavater, Johann Caspar
一五四、三二七、三三六、

瑞西人、詩人、神學者、觀相學の大家、一七四一年生、一八〇一年死。

68 ラレー(サー、ウォルター)
Raleigh, Sir Walter
二三八、

英國人、軍人、政治家、詩人、歴史家、一五五二年生、一六一八年刑死。

69 ラスキン(ジョン)
Ruskin, John
八、一九、三七、一二三、一二四、一六九、一九六、三二〇、

最も高名なる英國學者、著述家として、美術批評家として、自然の解釋者として、理想の詩人として、世界的一大人物なり、著書甚だ多し。一八一九年二月八日英京ロンドンに於て生れ、一九〇〇年一月二〇日ブラントワードに於て死す。

70 ラック(ジョン)
Locke, John
二五、

英國人、近世哲學の大家、一六三二年八月二九日生、一七〇四年十月二八日死。

71 ラッサフォールド(サムエル)
Rutherford, Samuel
八二

蘇國人、神學者、長老派宗教学家、一六〇〇年頃生、一六六一年死。

72 ライル(ジョン、チャールズ)
Ryle, John Charles
三二

英國人、宗教教師、註釋家、著述家、一八一六年生、一九〇〇年死。晩年に至りてリバプールの監督となり命令あり、四福音意解廣く世に行はる。

○ウの部

73 ウナム(或はア)
Uplam, Thomas Cogswell
一三、三八

米國人、哲學者、宗教学者、著述家、一七九九年生、一八七二年死。

74 ウエブスター(ダニエル)
Webster, Daniel
一四、三〇、三

米國著名の政治家、雄辯家、法律家、前後二回國務卿の重職に就き、數回大統領の候補者に挙げられたり。一七八二年一月二八日生、一八五二年十月二四日死。

75 ウエリントン侯
Wellington, The Duke of
二〇

其本名をアルサー、ウエルズリ(Arthur Wellesley)と稱す、ナポレオンをウオーテルローの大合戦に於て打破りたる英國の名將なり。一七六九年四月三〇日(或は五月一日)生、一八五二年九月一四日死。

76 ウ井リヤムス(ウ井リヤム)
Williams, William
九

米國人、多くの宗教学業に熱心し、又日曜學校事業に従事せり。一七八八年生、一八七〇年死。

77 ウールマン(ジョン)
Woolman, John
一三、三〇、九

米國人、既教学家、同胞協會の先達たりし人、著書多し。一七二〇年生、一七七二年死。

78 ウールシー(セオドア、ドワイト)
Woolsey, Theodore Dwight
二五、一

米國人、有名の教育家、政治法律に關する著述多し、長くエール大學に於て教授し、後校長となる。一八〇一年生、一八八九年死。

79 ウ井ザースプーン(ジョン)
Witherspoon, John
二四、一

蘇國に生れ米國に移住し、プリンストン大學の校長となりし宗教学家、教育家にして、米國獨立告文署名者の一人也。一七三二年生、一七九四年死。

○クの部

80 クラーク(アダム)
Clarke, Adam
二四、四

英國著名の宗教教師、聖哲學者、ウエスレー派に屬す。一七六二年生、一八三三年死。

クラーク(ジェームス、フリーマン)
Clarke, James Freeman
一〇、一

米國人、ユニテリアン派の宗教学者、著述家、一八一〇年生、一八八八年死。

82 クレー(ヘンリー)
Clay, Henry
一八四一

米國人、高名なる政治家、雄辯家、屢々大統領候補に擧げらる、一たび國務卿たり。一七七七年生、一八五二年死。

83 グラウ(シモン、ニコラス)
Grou, Jean Nicolas
一三三三、一四二二、一九九、二二七、三三三、三四七。

女流著者、生地不明、一七三一年生、一八〇三年死。

84 クウワールス(フランシス)
Quales, Francis
六八、一三三、二七一、三〇三、三二五。

英國詩人、著作多し、一五九二年生、一六四四年死。

○ヤの部

85 ヤング(エドワード)
Young, Edward
一、三六、一六六。

英國詩人、著作多し、一六八一年生、一七六五年死。

86 ヤング(ジョン)
Young, John
一七三、一八一、一九三。

蘇國人、エナンボロー大學神學教授、歴史上の基督の著者、生時及び死時未詳。

○マの部

87 マクドナルド(ジョージ)
Macdonald, George
一六、一四一、一六七、一八九、一九五、二四八、三六一。

蘇國人、詩人、小説家、宗教教師、著作多し、一八二四年生。死時不明。

88 マコーレー(トウマス、バビントン)
Macaulay, Thomas Babington
二四三。

英國人、著名の歴史家、政治家、文學者、詩人、長く國會に於て勢力あり、一たび陸軍大臣たり、男爵に叙せらる、著述多し、英國史最も著はる。一八〇〇年十月二五日生、一八五九年十二月二八日死。

89 マン(ホーレース)
Mann, Horace
一四、一一〇、一五〇、三〇一、三二五、三三九。

米國人、教育家、一七九六年生、一八五九年死。

90 マンニング(ヘンリー、エドワード)
Manning, Henry Edward
四四、四九、一七〇、一九六、二二九、二六四、二八三、三二九、三三三、三五七。

英國人、思想家、著述家、始め英國々教會の教職に居りしが、後天主教に入り主教となる。著書多し。一八〇八年生、一八九二年死。

91 マルチノー(シエームス)
Marineau, James
八、一一一、一五二、二二四、二五二、三四九。

英國人、著名の著述家、ユニテリアン派の先達、著書多し「宗教に於ける權威の所在」最も行はる。一八〇五年生、一九〇〇年死。

92 マーティン(ヘンリー)
Martyr, Henry
二四一。

英國人、宣教師、大學卒業後、決志印度に渡り、土人間に傳道し傍ら聖書翻譯に従事す。死時僅かに三十二、而かも其献身の精神と、品格の高潔なるを、思想の富麗なるをより、近世傳道史に於て著名の人物たり。一七八一年二月一八日生、一八一二年十月一六日、歸國の途次アルメニヤ、ハカトに於て病没す。

93 マウントフォールド(ウヰリヤム)
Mountford, William
一四九、一九四、三三六、

生國并に職業不明、一八一六年生、一八八五年死。

○ケの部

94 ケルデー(メリー、アン)
Kelly, Mary Anne
卅、二六〇、

一八五三年、始めて世に公にせられたる宗教小説の名。

95 ケンピス(トウマス、エー)
Kempis, Thomas A
四六、一九七、二〇一、二六三、

獨逸人、神祕家、著作家、厭世的傾向強し而かも教
壇の精神その文字に溢る、「基督に私淑す」てふ奇廣
く天下に行はる。一三八〇年生、一四七一年死。

96 ゲーテ
Goethe, Johann Wolfgang von.
一四七、一五三、一八四、二七三、

高名なる獨逸詩人、文學者、作劇家、此人世界的大
文學者として實に英のシェクスピアと名譽を争
ふ。一七四九年八月二八日生、一八〇三年三月二二
日死。

○フの部

97 フェーバー(フレデリック、ウヰリヤム)
Faber, Frederick William
一六七、一九九、三四八、

英國人、宗教教師、讃美歌著作家、一八一四年生、一
八六三年死。

98 フェルサム(ヲノウヰン)
Fellham, Owen
二二、五八、二〇五、二三四、二九七、三三六、

英國人、著述家一六〇二年生、一六六八年死。

99 フェーレンマン
Fénelon, Francois de Salignac de La Mothe
二六、一三八、一三九、一四六、二〇二、二〇四、
二二三、二六三、二七七、三五四、三五九、

佛國人、著名の宗教教師、説教家、演説家、著述家、
一六五一年生、一七一五年死。カンブレーの大監督
たる一七二十年、著書廣く世に行はる。

100 フェチテ(ヨハン、ゴットフリート)
Fichte, Johann Gottlieb
八五、

獨逸人、著名の學者、哲學者、著作多し。一七六二
年生、一八一四年死。

101 フレーウエル(ジョン)
Flavel, John
四一、一五六、二〇四

英國人、長老派宗教教師又著作家、一六三〇年生、一
六九一年死。

102 フランクリン(ベンジャミン)
Franklin, Benjamin
一五、一三六、三三〇、

米國人、高名の哲學者、政治家、外交家、著述家、發
明家、米國有史以來大人物の一たり。一七〇六年一月
一七日ボストンに於て生れ、一七九〇年費府に於て
死す。

103 フールラー(トーマス)
Fuller, Thomas
二九七、三三〇、

英國の神學者又歴史家、一六〇八年生、一六六一年
死。

104 ブレーマ(ロバート)
Blair, Robert
一〇'

蘇國人、宗教教師、詩人、一六九九年生、一七四六年死。

105 プラツキー(ジョン、スチユールト)
Blackie, John Stuart
八四

蘇國人、言語學者、詩人、一八〇九年生、一八九五年死。三十年間エダンボロー大學の教授を勤む。

106 ブルツクス(フヒリツプス)
Brooks, Phillips
一〇五、一二三、一四〇、一六二、一八八、一九〇、
一九二、一九二、一九八、二二八

米國人、著名の宗教教師、思想家、雄辯家、監督教會の監督としてボストンの三一教會を牧し其牧師の稱高かりき。説教果敢く世に行はる。一八三五年生、一八九六年死。

107 ブルータ(ストツプフォルド、ラ、ガスタス)
Brooke, Stopford Augustus
二五四

英國人、宗教家、著述家。一八三二年生、死時不明。

108 フランセヌ(デ、セールズ)
Frances De Sales
三三、一六四、二七八、二八七

佛國人、聖者、思想家、一五六七年佛國サボイに生れ、ウエネスの監督となり、一六二二年リオンに於て死す。

○ユの部

109 ヨールリツヂ(サムエル、テーロル)
Coleridge, Samuel Taylor
四七、二二八、二〇六

英國人、哲學者、詩人、文學者、批評家、一七七二年生、一八三四年死。

110 コールトン(チャールズ、カレンツ)
Colton, Charles Caleb
二三四、二四四、三〇一

英國人、宗教教師、著述家、一七八〇年生、一八三二年死。

111 コルツリア(ロバート)
Collyer, Robert
一八九

英國に生れ米國に移る、宗教教師、一八二三年生。

112 コスウート(ラウス)
Kosuth, Lajos
一五四

ハンガリー國名士、愛國者、辯説家、改革家、一八〇二年生、一八九四年死。

113 ゴルドスミス(ヨリバー)
Goldsmith, Oliver
八九

英國人、著名の文學者、詩人、作劇家、一七二八年一月一〇日生、一七七四年四月四日死。

○エの部

114 エドワーズ(ジョンナサン)
Edwards, Jonathan
二五七、三二二

米國人、高名の心理學者、神學者、著述家、或時は牧師として或時は大學校長として大勢力ありき。一七〇三年生、一七五八年死。

115 エリオット(ジョージ)
Eliot, George
六九、一四〇、二二三、三五三、三五四

此はクロツス夫人(Mrs. Cross)の文名也、此人英國高名の女流文學者小説家にして著書山積す。一八一九年生、一八八〇年死。

116 エマーソン(ラルフ、ワルドウ)
Emerson, Ralph Waldo
一七九七、一八八二、三月四、三〇〇、
三三三、三四八、三五五、

高名なる米國文學者、演説家、詩人、一八〇三年五月二十五日ワシントン市に生れ、一八八二年四月二十七日コンコルドに於て死す。其著書廣く愛讀せらる。

117 エピクテータス
Epictetus
四六、七七、一八四、三二四、

小亞細亞フヒルツアのヒエラポリスに生れたる有名なるストアック派の哲學者なり、キリストと同時代の人なりと傳へらるゝも、その生死の年月明確ならず。

118 エピキユラス
Epicurus
エラスマス(デシデリウス)
Erasmus, Desiderius
一七一、

フリーキの哲學者、エピキユリアン派の祖也、紀元前三四二年生、二七〇年死。

119 エラスマス(デシデリウス)
Erasmus, Desiderius
一七一、

和蘭人、高名の學者、神學者、諷刺家、著述家、ルイナルと相識れる人なり。一四六五年生、一五三六年死。

120 エドワード(エドワード)
Eyrell, Edward
三二九、

米國人、高名の政治家、演説家、著述家、一七九四年生、一八六五年死。

○テの部

121 デーナー(リチャード、ヘンリー)
Dana, Richard Henry
一〇三、

米國人、詩人、文章家、一七八七年生、一八七九年死。

122 テルステーゲン(ゲルハールド)
Tersteegen, Gerhard
一〇一、三三三、

獨逸人、有名なる讚美歌著述者、一六九七年生、一七六九年死。

123 テーロー(ジェレミー)
Taylor, Jeremy
二二、二九、六〇、七〇、八六、一六九、二〇八、
二二二、二八五、三二八、三五八、

英國人、宗教教師、監督、高名の著述家、一六一三年生、一六六七年死。聖生活及聖死の二書廣く世に行はる、聖思想紙面に溢る。

124 テルロットソン(ジョン)
Tillotson, John
三三、三三〇、

英國人、宗教教師、神學者、大監督、一六三〇年生、一六九四年死。

○アの部

125 アダムス(ジョン、クウヰンシー)
Adams, John Quincy
一四七、

米國第六代の大統領(第二大統領の子)政治家、敬虔家、一七六七年生、一八四八年死。

126 アダムス(ニヘマイヤ)
Adams, Nehemiah
三三、

米國人、宗教教師、牧師、一八〇六年生、一八七八年死。

127 アディソン(ジョーゼフ)
Addison, Joseph
二二、二四、八二、一三七、一六八、一八四、二六七、

英國人、高名の文章家、詩人、政治家、一六七二年生、一七一九年死。

128 アントニナス(マルカス)

Antoninus, Marcus

五、九二、一九七、二五五、二八四、三五三、

高名なる羅馬帝國の君主、哲學者の稱あり、一二一年生、一八〇年死。

129 アリストトール

Aristotle

三二九、

最も高名なるギリキ哲學者、實に後世哲學者の祖なり、プラトクに師事す、その著書浩瀚也、紀元前三八四年生、同三二二年死。

○サの部

130 サララ(ジオーシ、ヲ、ガスタス、ヘンリー)

Sala, George Augustus Henry

四、二九八、

英國人、小説家、作文家、一八二八年生、一八九五年死。

131 サウス(ロバート)

South, Robert

三五、四一、二四一、三三四、

英國著名の神學者、一六三三年生、一七一六年死。

○キの部

132 キングスレー(チャールズ)

Kingsley, Charles

一四二、二八二、三五五、

英國人、宗教教師、著作家、小説家、一八一九年生、一八七五年死。

○メの部

133 メランクソン(フエリツフ)

Melanchthon, Philipp

一八七、二三四、三五一、

獨逸高名の宗教改革家、ルイナルと相提携して改革の大事に當る、神學者、思想家、一四九七年二月六日生、一五六〇年四月十九日死。

134 メルヴィール(アンドロウ)

Melville, Andrew

蘇國神學者、宗教改革者、一五四五年生、一六二二年死。

○ミの部

135 ミルトン(ジョン)

Milton, John

一〇四、一三三、

最も高名なる英國詩人、著作家、熱心なる宗教家、その詩矢樂園は文學界萬世の重寶なり。其家庭生活及び政治生活遊境多し、晩年盲となる、矢樂園の如きは自ら口授して其女に筆記せしめたる者なり。一六〇八年十二月九日ロンドンに於て生れ、一六七四年同所に於て死す。

136 ミューレル(マックス)

Müller, Max

八八、

最も高名なる言語學者、獨逸に生れ英國に移り、大學教授として又著述家として盛名を天下に博す。一八二三年十二月六日生、一九〇〇年十月二八日死。

○シの部

137 シーシル(リチャード)

Cecil, Richard

一二二、一七六、三四八、

英國人、英國教會に於て有力なりし福音的傳道者、一七四八年生、一八一〇年死。

138 シセロー(マーカス、チネーリアス)
Cicero, Marcus Tullius
三二、三六、六八、七六、一四八、三六六、

羅馬人にして高名なる辯論家、哲學者、政治家又軍人、紀元前一〇三年以多利に生れ、同四三年歿す。

139 シンメルペンニツク(メリー、アーン)
Schimmelpennick, Mrs. Mary Anne
二八四、二九二、三〇九

女流作家、生國未詳、一七七八年生、一八五六年死。

140 シゴールチー夫人
Mrs. Sigourney (Lydia Huntly)
四〇、二四二、二七三

米國の女詩人、作文家、一七九一年生、一八六五年死。

141 シムス(チャールレス、エン)
Sims, Charles N.
一五七

米國人、宗教教師、教育家、美以派に屬し一時雄辯を以て名高かりし。一八三三年生。

142 シトキムビーア(ウヰリヤム)
Shakspeare, William
四〇、一五〇

英國人、是れ世界的太詩人、大文學者、大作劇家也、聖書を除きて、此人の著作は天下の人に愛讀玩味せらるゝ者なし、一五六四年四月生、一六一六年四月二三日死。

143 シンソントン(マシュー)
Simpson, Matthew

米國人、美以派監督、一八一〇年生、一八八四年死。

144 シドニー(サー、フビリップ)
Sydney, Sir Philip
一四六、二〇七、三〇一

英國人、著述家、軍人、一五五四年生、一五八六年死。

145 シヤアフ(フビリップ)
Schaff, Philip
九四

瑞西に生れ獨逸にて學び、後米國に移住し米國人となる。高名の宗教學者、著述等身、改正英譯聖書の委員長として、紐育市ユニオン神學校長として、活潑なる教會歴史及註釋書の著名として、名聲高かりき。一八一九年生、一九九三年死。

146 ヤーロービー(フリードリッヒ、ハインリッヒ)
Jacobi, Friedrich Heinrich
一八、一五八

獨逸人、高名の哲學者、一七四三年生、一八一九年死。

147 ションソン(サムエル)
Johnson, Samuel
三、八八、一三三

英國人、高名の文學者又詩人、一七〇九年生、一七八四年死。

148 シンメルマン
Zimmermann
三〇一、三〇三

瑞西人、醫家、哲學者、一七二八年生、一七九五年死。

○ロの部

149 ビーチヤー(ヘンリー、ワード)
 Beecher, Henry Ward
 一八、一四九、一五四、二二〇、二六六、三〇四、
 三〇八、三三三、三四〇、三四二、三四三、三五六、

米國人、著名の宗教教師、牧師、改革家、演説家、著述家、長くアメリカン教會の牧師として名あり、其著書廣く世に行はる。一八〇三年八月二十七日生、一八九五年七月二十八日死。

150 ドカルヌテヌ(エドワード)
 Bickersteth, Edward
 英國人、宗教教師、著者、一七八六年生、一八五〇年死。

151 ロル(ローランド)
 Hill, Roland
 一三三、一三三、
 有名なる英國説教者、又著者、一七四四年生、一八三三一年死。

152 ムネーズ(トウマヌ)
 Hughes, Thomas
 英國人、著述家、改革者、政事家、一八二三年生、一八九六年死。

153 ムネート(デビッド)
 Hume, David
 一四、
 蘇國人、英國高名の哲學者、歴史家、不信説の支持者、著書甚だ多し、一七一一年生、一七七六年死。

154 プューゼイ(エドワード、ボウウベリー)
 Pusey, Edward Bonverie
 三三、四八、七三、七四、一五九、一六二、二三四、
 二五八、三四四、三六二、
 英國人、高名の神學者、大學教授、思想家、著述家、説教者、一八〇〇年生、一八八二年死。

155 ピサゴラス
 Pythagoras
 高名なるギリキ哲學者、數學者、紀元前五八二年頃生、同五〇〇年頃死。

○モの部

156 モーリス(フレデリック、デニン)
 Maurice, Frederick Denison
 一〇八、三三三、三三四、
 英國有名の神學者、教育家、著述家、一八〇五年生、一八七二年死。

157 モーリーノス(ミギューエル)
 Molinos, Miguel
 四五、二二三、
 スペイン人、神祕家、一六四〇年生、一六九六年死。

158 モンテスキュー
 Montesquieu
 三三六、
 佛國高名の法學者、著述家、一六八九年生、一七五五年死。

159 モーア(ハンナ)
 More, Hannah
 三、二八、二〇九、
 英國女流文學者、宗教的著述多し、一七四七年生、一八三三年死。

○セの部

- 160 セネカ(ルシアス、アンニウス)
Seneca, Lucius Annæus
一六、三三、七六、七七、二九八、三三八、三三二、

〔羅馬人、高名なる哲學者(ストアック流)政治家、著述家、紀元前四年頃生、同六五年ネロ王の命に従ひ自殺す。〕

○スの部

- 161 スコット(サー、ウォルター)
Scott, Sir Walter
七、一〇四、一五〇、二〇五、三二五、
- 162 スミス(シドニー)
Smith, Sydney
一三、一三二、三〇、
- 163 スミス(アダム)
Smith, Adam.
一、
- 164 スマイルス(サムエル)
Smiles, Samuel
一三、

〔蘇國人、高名の文學者、小説家、詩人、著書浩翰多く世に行はる、一七七一年八月一五日生、一八三二年九月廿一日死。〕

〔英國人、宗教教師、文章家、辯論家、著書多し。一七七一年生、一八四五年死。〕

〔蘇國人、高名なる經濟學者、一七二三年生、一七九〇年死。〕

〔蘇國人、著述家、その有益の書廣く世に行はる、中村數字齋譯「西國立志傳」の原著者也。一八二二年生、一九〇四年死。〕

- 165 マダム、デ、スタエル
Madame De Staël
六三、三六、
- 166 ステューベン(サー、シエームス)
Stephen, Sir James
七、
- 167 ステルリング(ジョン)
Sterling, John
一〇、
- 168 スタンレー(アルサー、ペンリーン)
Stanley, Arthur Penhryn
一、二五、二五九、二九九、三五〇、
- 169 スターレン(ロウレンス)
Sterne, Laurence
一三、一三、一三、
- 170 スウ井ント(シヨナサン)
Swift, Jonathan
二八、
- 171 スベチーン(マダム)
Swetchine, Madame
三、

〔高名の佛國女流著述家、始めスタエルガルスメインの男爵に嫁せし、男爵死するに及んで、専ら著述に従事し、其天才を恣にせり。一七六六年生、一八一七年死。〕

〔英國人、歴史家、大學教授、一七八九年生、一八五九年死。〕

〔蘇國人、詩人、著作家、一八〇六年生、一八四四年死。〕

〔英國人、神學者、歴史家、著述家として盛名あり、著書多し、皆な世に行はる。一八一五年生、一八八一年死。〕

〔英國著名の小説家、辯論家、一七一三年生、一七六八年死。〕

〔英國高名の文學者、諷刺家、著書浩翰、讀書社會に流布す、一六六七年生、一七四五年死。〕

〔露國女流著作家、一七八二年モスコに生れ、一八五七年パリスに於て死す。〕

172 スウイーデンホルム (エンマヌエル)
Swedenborg, Emanuel
一七三三入

有名なる瑞西哲學者、神祕家、一六八八年生、一七
七二年死。

○本書に引用せる諸書枚舉に暇あらず其内左の書より出たるもの頗
る多し。

Daily Strength For Daily Need. By Mary W. Filleston

メアリー・テレンストン女史著

○尙ほ本書中畧字を以て其思想の出所を示せるもの左の如し。

(Crumbs) (屑) 且

Crumbs from the King's table. By Margaret Bottoms

マレガレット・ボットム女史著

(土の食卓より落たる屑)

(Gems) 且 Gems of thought. By Charles Northend

チャールズ・ノースエンド氏著

(思想の寶珠)

(Leaves) (葉) 且

Leaves from the tree of Life. By Rev. Richard Newton D.D.

神學博士リチャード・ニヒローマン著

(生命の樹より落たる葉)

(H. W. S.) 且

Hannah W. Smith (ハンナ・スミス夫人) の畧字にて其著書中より引ける者也。

(I. G.) 且 Illustrative Gatherings for Preachers and Teachers. By Rev. G. S. Bowes 且 出づ。

(Helps) 且 Helps by the Way. By Sara A. Wilson & Matha S. Hussey 且 出づ。

明治四十年九月二十一日印刷

明治四十年九月二十三日發行

基督教惠林奥付

定價 金七十五錢

編纂者 星野光多

東京京橋區尾張町二丁目十五番地

發行者 福永文之助

横濱市太田町五丁目八十五番地

印刷者 村岡平吉

東京京橋區尾張町二丁目十五番地

發行所 警醒社書店

横濱市山下町八十一番地

印刷所 福音印刷合資會社



星野光多君編 (基督教談林改題訂正増補)

基督教談叢

一名 日毎の教

定價上製七十五錢
郵税 八 錢

本書の特色とする所は基督教的眞理を説明するに基督教的事實を以てするにありて著者が主眼として豫期する所は第一日用讀物として家族禮拜の用に供する事第二斯教求道者のため興味を覺へつゝ眞理に入るの便宜を得せしむる事第三参考書乏しき傳道者日曜日學校教師等に談話の材料を供する事等にありて卷尾に念入りの見出しを附したるは時と場合の必要に應じ自由自在に適切なる話柄談料を取出さしめんこの工風に出でたり此書の効用果してよく著者念頭の目的を達せしむるや否や此問題は讀者諸君の公平なる判斷に一任せざるを得ず

△第六 逆境の恩寵

西鎮、中山忠恕、海老名彈正、内村鑑三、植村正久 君序 故徳永規矩遺稿
本書は多年病床に呻吟して人生のあらゆる苦楚辛酸を嘗め失望落膽の極に達したる逆境に處し幾多の患難幾多の斷腸に遭過するも熱烈なる信念凛然たる勇氣嚴正なる行爲を以て優なる神恩を感謝し信仰を以て人生の戰場に勝利を得たる著者の自叙傳なり (定價四十錢郵税八錢)

内村鑑三君著
第七版

▲求安

録 定價三十錢
郵税六 錢

倉長 魏君著
再版

▲人生の慰藉

定價廿五錢
郵税四 錢

高橋應藏君著
再版

▲感謝の生涯

定價十六錢
郵税二 錢

座 古愛子著
再版

▲伏屋の曙

定價四十錢
郵税五 錢

内村鑑三君著
第七版

▲基督信徒の慰

定價廿五錢
郵税四 錢

武本喜代藏君著
原 忠美君著

▲病床のなぐさめ

定價三十錢
郵税四 錢

宮川經輝君著
再版

▲神人合一

定價四十錢
郵税六 錢

再版

▲靈界の妙趣

定價十五錢
郵税六 錢

徳富健次郎君著 順禮紀行

定價八十錢
小包料 十 錢

△福音入門

星野光多著

定價 二十二錢

基督の畧傳と其生涯一覽と諸大家の論評一班を含む福音を初學に與ふる便益少からざるべし。

▲聖語一覽

星野光多編

定價 四十五錢

本書は編者が世の聖語研究者の便利大なるべきを思ひ、最も確かと思は、年月の順序に従ひて、キリストの語を編成したるものなり、添ふるにキリストの畧傳、基督生涯一覽表、基督の人物并に説教に關する諸大家の論評一班を以てす、前二者は聖語研究の途次、基督の公的生涯に關する事蹟を參觀するの便を得せしむる爲め、後者は鋭利なる眼光を以て基督の人物并に説教を看破せし者の言説は、聖語を理解するに於て、大體上讀者の助となるべきが爲めなり。

△基督論評一班

星野光多編

定價 六錢

基督の人物と説教との、如何に驚くべく、尊むべく、又如何に信すべく、味ふべきものなるかを証明せんが爲め、歐米大家の之に對する論評一班を譯出したるものなり。

▲日本國民の天職と日露戰役

星野光多著

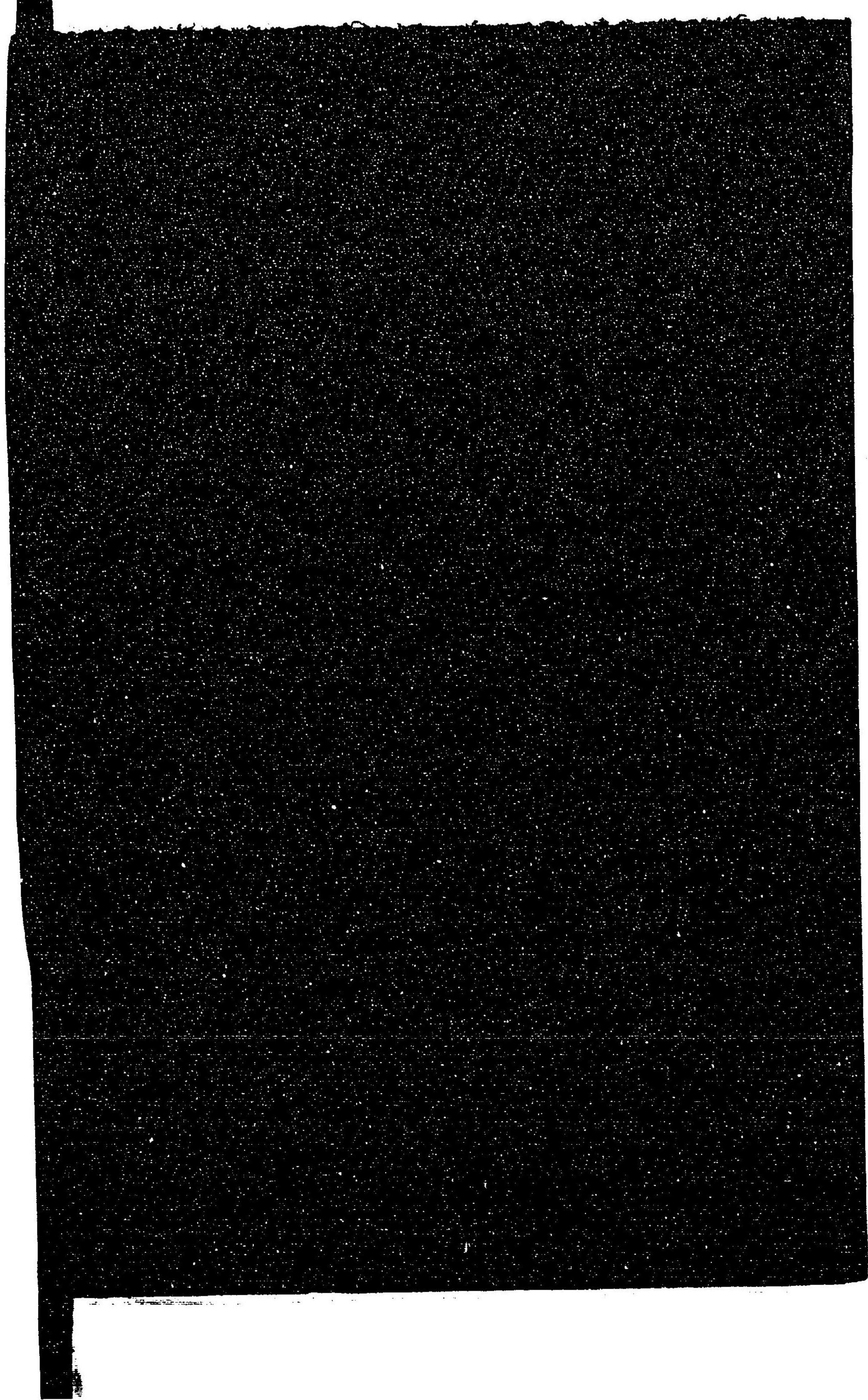
定價 二十二錢

緒言○第一章日本の自然的構造及狀態○第二章日本歴史の特色○第三章日本國民の天職○第四章日露戰爭(一)日本國民は何故に戰ふ乎(二)戰爭の結局如何○第五章我國將來の大方針

附錄
(一) 日露交渉顛末

(二) 對露辨妄公書

258
187



020456-000-7

特18-572

基督教思林 一名, 日毎の学

星野 光多/編

M40

ABI-0266

